

# 高分子材料における相溶性の基礎と

1名分料金で  
2人目無料

## ポリマーブレンド、コンポジットへの応用【名古屋開催】

- ◆日時:2018年10月9日(火) 12:30~16:30
- ◆会場:名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール) 4F 第7会議室
- ◆聴講料:1名につき49,980円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。  
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**  
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**  
 ※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。  
 (ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

### セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師:滋賀県立大学 工学部 材料科学科 教授 博士(工学) 徳満 勝久 氏

|  |  |
|--|--|
| <p><b>【ご活躍】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本レオロジー学会理事</li> <li>・プラスチック成形加工学会理事、関西支部長</li> <li>・マテリアルライフ学会副会長、論文審査委員長、関西支部長</li> <li>・日本ゴム協会代議員、関西支部常任幹事</li> <li>・日本材料学会 企画広報委員会委員(高分子材料部門)</li> <li>・近畿化学協会 企画委員会委員</li> </ul> <p><b>【受講対象】</b><br/>プラスチック成形加工業務にたずさわっている若手技術者や新人の方</p> <p><b>【必要な予備知識】</b><br/>特に予備知識は必要ありません。基礎から解説いたします</p> <p><b>【習得できる知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリマーブレンドおよび相容化剤の基礎的な知見が習得できる</li> <li>・ポリマーブレンド、コンポジット材料の物性評価方法が理解できる</li> </ul> <p><b>【講座の趣旨】</b></p> <p>Utracki の試算によれば、「新規高分子材料の開発研究」には開発費用として1500万ドルが必要であり、パイロットプラントまで含めると1億5000万ドルもの費用が必要と推察されている。一方、機能性賦与に既知ポリマー利用を利用する“ポリマーブレンド”技術を用いた場合、その開発費は200万~300万ドルと試算されており、費用対効果が高い材料開発が可能と推察されている。そのため、今まで数多くのブレンド材料が研究され、開発されてきたが、これからは従来の機能に「+1(プラスワン)」した新たなポリマーブレンド材料が望まれている。</p> <p>本セミナーは、従来のポリマーブレンドに関する基礎的内容から相容化剤を用いた成形加工技術への応用に至る幅広い技術体系を俯瞰し、今後の新たなポリマーブレンド、さらにはコンポジット材料創成に向けた知見の習得を目指すものである。</p> | <p><b>【プログラム】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ポリマーブレンド・アロイにおける構造制御メカニズム       <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. ポリマーブレンド・アロイの相分離構造の特徴</li> <li>1-2. “混ざる、混ざらない”は何が決めているのか?</li> <li>1-3. 非相溶系の分散メカニズム-モルフォロジーの制御と界面張力の制御-</li> </ol> </li> <li>2. RP法によるPP/PA/相容化剤ブレンド材料の物性改質効果       <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1. RPにおけるブレンド原料投入時期の違いによるPP/PA系材料の力学特性</li> <li>2-2. PP-g-MAH相容化剤におけるPP分子量とマレイン酸変成量の影響について</li> </ol> </li> <li>3. PP/EVOH系ブレンド材料のモルフォロジーとガスバリア性に関する研究       <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1. PP, EVOHの特徴</li> <li>3-2. ホットプレス法により調製されたブレンド材料の力学物性とガスバリア性</li> <li>3-3. ブロー成形法により調製されたブレンド材料の力学物性とガスバリア性</li> </ol> </li> <li>4. セルロースナノファイバーの表面処理とPLA系コンポジット材料の物性改質効果       <ol style="list-style-type: none"> <li>4-1. セルロースナノファイバーの表面処理によるPLAの物性改質効果</li> <li>4-2. 複合則による熱膨張係数とCNF分離状態の考察</li> <li>4-3. カルド/非カルドの違いによるPLA物性改質効果への影響</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;"><b>【質疑応答・名刺交換】</b></p> |
|--|--|

### 『相溶性【名古屋開催】』セミナー申込書

FAX:03-5857-4812

|       |     |
|-------|-----|
| 会社・大学 |     |
| 住所    | 〒   |
| 電話番号  | FAX |

| お名前 | 所属・役職 | E-Mail |
|-----|-------|--------|
| ①   |       |        |
| ②   |       |        |

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>